

編集後記

元号が平成から令和へ変わり、新たな時代を迎えました。このたび7年ぶりに編集委員会に帰ってきましたが、令和最初の編集後記を担当させていただくことを光栄に思います。最近では平成を振り返るテレビ番組が毎日のように放送されていますが、研究環境も平成の30年強の間に大きく変わりました。かつては蒸留水を自分で作っていたのが、ボタンひとつで純水を採水できる時代になりました。クロマトチャートをハサミで切り取って、重さからピーク面積を求めていたことなど、今では話のネタにしかありません。図書室で綴じ目を必死に押し広げながら論文をコピーしていたことなど、平成生まれの人には想像もつかないことでしょう。熱分析の世界においても市販装置の感度が大きく向上し、温度変調型DSCや超高速DSC、さらには各種複合装置など、当時から考えれば夢のような装置が普通に市販されています。一方で、情報検索が便利になったことで論文盗用の問題が頻発するようになり、測定装置が便利になりすぎたことで、実験者がおかしな自動解析結果を鵜呑みにするといった問題も生じています。電子メールの普及によって研究環境は間違いなく便利になりましたが、24時間どこにいても仕事が舞い込んでくるというのも、ある意味考えものです。技術がどんどん加速して進化する中、人や組織の適応力も強く求められるようになった時代が、平成かもしれません。

最近はこの学会でも会員減の問題に直面しており、年会を開催して学会誌を発行するというフォーマット以上の付加価値の創出や、効率的な運営が求められています。学会誌の発行には大きな支出を伴うため、他学会では会誌を完全オンライン化する動きがかなり進んでいます。そのような中、「熱測定」誌はその形態を大きく変えることなく、充実した内容を提供し続けていると思います。7年間の休暇(?)中に、私自身は企画幹事などを担当していましたが、業務の中で熱分析を手探りでやっている若手企業研究者がとても多いことが分かりました。さらに会員からの需要に応えるべく新企画を検討した結果、本号より熱測定の基礎を著名な先生方にやさしく解説していただく「チュートリアル」を始めました。日常的に熱測定を利用していながら、今まであまり気にしていなかった注意点の発見や、誰にも聞けなかった疑問点の解決に繋がればと思います。令和を迎えて本誌もどれだけ進化できるか、新たな時代の幕開けです。
(川上 亘作)

【複写される方へ】 Notice about photocopying

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受け複写して下さい。但し(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません。(社外頒布用の複写は許諾が必要です。)

権利委託先：(中法) 学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル, TEL. 03-3475-5618, FAX. 03-3475-5619, E-mail: info@jaacc.jp

なお、著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡ください。また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc., 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, U.S.A. FAX. +1-978-646-8600

2019年度「熱測定」編集委員会

(委員長) 織田 昌幸

(編集委員) 阿部 陽香, 川上 亘作, 川路 均, 寺島 幸生, 八尾 晴彦, 山田 秀人

(拡大編集委員) 池内 賢朗, 戸田 昭彦, 名越 篤史, 西本 右子, 米持 悦生

熱測定 Vol.46, No.2, 2019

昭和52年5月27日 第4種郵便物(学術刊行物)認可

2019年4月20日 印刷

2019年4月25日 発行

発行人 日本熱測定学会 齋藤 一弥

事務局 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-6-7 宮沢ビル 601
TEL. 03-5821-7120 FAX. 03-5821-7439 E-mail: netsu@mbd.nifty.com

熱測定原稿 E-mail: edit@netsu.org

学会ホームページ <http://www.netsu.org/>

郵便振替口座 00190-5-110303